

様 【天の巻・羅針盤】

 .: :.: :_.: :_.: :_.: :_.: :_.: :_.: :_.: :_
 .: :.: :_.: :_.: :_.: :_.: :_.: :_.: :_.: :_
 .: :.: :_.: 自然法 命学 運命鑑定書 :_.: :_.: :_.: :_
 .: :.: :_.: :_.: :_.: :_.: :_.: :_.: :_.: :_
 .: :.: :_.: :_.: :_.: :_.: :_.: :_.: :_.: :_

様へ

【E-Mail】

自然法算命学 観山 素至命

鑑定書は大きく三つに分かれます。

- ・天の巻：ホームページにあります運命鑑定書。
- ・人の巻：性格分析が主となります。
- ・地の巻：大まかな後天運が主となります。

天の巻・羅針盤：自分の役目を知るためのデータベース、素材を記載してあります。

天の巻 運命鑑定書

【申込人名】 年 月 日

***** 命式 *****
 生年月日 年 月 日 (水) 性別：女性

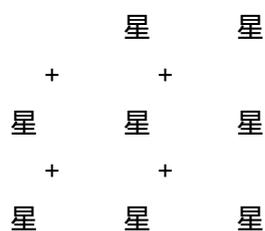
節入りの深さで取り、冬至を新年の区切りにした場合

日 月 年

天中殺：午未

様 【天の巻・羅針盤】

宿命（陽占）



後天運（大 運）

旬	歳	干支	主星	従星				天中殺 天中殺現象 変剋律
初	3	乙丑	貫索	天堂	大半			
2	13	甲子	石門	天胡	破			天中殺現象
3	23	癸亥	龍高	天極		支合	支合	天中殺現象
4	33	壬戌	玉堂	天庫	害	半会	半会	天中殺現象
5	43	辛酉	車騎	天馳	比和 自刑			
6	53	庚申	牽牛	天報		天剋 生刑	天剋 生刑	
7	63	己未	禄存	天印				天中殺 天中殺現象
8	73	戊午	司禄	天貴		半会	半会	天中殺 天中殺現象

数理法（八門法）

五行・八門法

	水(龍高・玉堂) 0	
金(車騎・牽牛)17	木(貫索・石門)100	土(禄存・司禄)40
	火(鳳閣・調舒)60	

- 北方： 0点
- 東方： 40点
- 中央： 100点
- 南方： 60点
- 西方： 17点

の守護神

乙気は自然界に置き換えると、草木、草花、野菜を象徴とします。
草花や野菜に必要な自然界の気は、太陽と多すぎない雨であります。
宿命に丙火と癸水がバランス良く存在すると、この世での役目が発揮し
しやすい人生となります。

日干 : 守護神は左から第一、第二、第三守護神の順番です。

寅月生まれ : 守護神は 丙火 癸水

丙火 (世の中の注目を集める運氣)

辛金 (宿命のバランスを取られる運氣)

辛金 (建て直しの役目が稼働する運氣)

丙 第一守護神 子供、社会、仕事、表現の世界

丙火は壮烈な太陽の火とみます。

太陽の火は季節によって強くなったり弱くなったりします。

陽丙 太陽 - 天にある恒星および月なども含む

方位は南方、色は紫赤(紫がかった赤)、太陽をイメージさせる色。

自然界の事象に置き換えて太陽、陽火、巨火

太陽の象徴です。昼間の暖かさ明るさを「明暖」といいます。
明るく暖かい気です。

丙火は伝達を表し、文明、明るいところ、日の目を見る世界の象徴です。

辛 調和の守護神 夫、家庭、使命感

辛金は加工された優しい貴金属とみます
指輪とか貴金属のように宝石の象徴です。

様 【天の巻・羅針盤】

陰辛 宝石 - 宝石など宝物すべてを含む
方位は西方、色は白色、または淡白（薄い白色）
自然界の事象に置き換えて小石、砂利、貴石、軟金
辛金は金属としては柔らかいのですが、鋭い宝石という質があり、「従鋭」という言葉で表します。宝石の気は特別意識、美意識という気をもたらします。積極的な気です。
辛金は無形の精神世界を自然淘汰する気の特徴です。

後天運守護神

日干 : 守護神は左から第一、第二、第三守護神の順番です。
寅月生まれ : 守護神は 丙火 癸水 辛金

後天運 丙 丁の年は、世の中の注目を集める運氣です。

後天運 丙 丁の年、時代の建て直しの人生を歩むと、世の中の評価を得る運氣となります。

後天運 丙 丁の年、安泰に執着した人生を歩むと、世の中から淘汰される運氣となります。

後天運 壬 癸の年、周囲の期待、応援、援助のなかで運気の稼動があります。

後天運 壬 癸の年、時代の建て直しの人生を歩むと、世の中の評価を得る運氣となります。

後天運 壬 癸の年、安泰に執着した人生を歩むと、世の中から淘汰される運氣となります。

後天運 庚 辛の年は、建て直しの問題が表面化する運氣です。

後天運 庚 辛の年は、建て直しにおいて役目を発揮できる運氣です。

後天運 庚 辛の年、安泰を望む人生において、トラブルが表面化する運氣です。

忌神

日干 : 忌神

寅月生まれ : 忌神は 金性(庚金 辛金) 木性(甲木 乙木)

後天運 庚金 辛金の年は世の中の目立たない世界、裏方の世界で
役目が稼動する運気です。

後天運 甲木 乙木の年は運気の動きが滞りがちになります。

極 極は、運勢のポイントをにぎっており、扇の要に相当します。

酉 夫、家庭、闘争

結婚前、建て直しの生き方をしていると、結婚において、建直し
を生業とする人をパートナーとする。

結婚前の行き方が、人生のポイント、分岐点となっています。

天中殺

午未天中殺 午未(6月、7月) 午年、未年

・ 午未天中殺 南方中殺世界といい、細木数子女史の六星占星術で
は、火星人と説かれているようです。

- ・ 本質：義。
- ・ 役目：物事の推進力、前進力。
- ・ 場所：運命を共にするものとの共同の場。
- ・ 方法：有形。

現実的世界で前進することを役目として与えられており、補佐役、
二人三脚の同志を得ることが大切である。新しい世界を作り、理想
を構築するために常に前進し、その中で自己の役目が消化されてい
く。自己の心の中から発した現実的理想郷を作り出すことが役目と
して与えられている。家系の流れの末代に生まれやすく、家系の最
終段階として何らかの結果を作り出していくこととなる。未来より

様 【天の巻・羅針盤】

自分の代で何らかの形成をなそうとする。そのために、子供縁が薄く、跡取りは自分の仕事の継承者となりにくい。目上上司の引き立て強く、初年運、中年運の人が多し。子孫、後輩、子供の生き方に対しての心の広さが問われる世界であります。

命

自然

宿命（無意識の行動世界）

（魂の本質：一番奥にある純粋な心の動き）

【柔軟思考】

性情として他人に気を使う神経質な面があります。本質として物事に対して慎重であるため、戦いの環境は精神的にまいってしまうでしょう。安定した職場、平和な時代・環境で能力を発揮しやすいでしょう。

無理して強引に物事を押し進めるよりも、人と協調しながらその中で少しずつ自分の考えを主張していく傾向にあります。よって、戦いや競争の環境、人から避難されたりする環境では精神的強さに欠け、アウトロー、一匹狼的生き方となる傾向にあります。

他人の意見をよく聞いて応用するが、はじめの思考を結論へ導く間に、途中で人の意見等によっていろいろ変化するところがあります。他人に和合しようとする質があって、神経質で心配りがうまいです。他人のものを利用するのは上手ですが、自ら作り出すことは苦手です。人を活かして自分を活かし、小さいことの積み重ねで大きな仕事をするようになります。挫折があってもはい上がる力を有しています。内面に心の不安を抱えやすいところがあります。

宿命再建格

本質的に何らかの建て直しを役目として与えられている宿命です。

完成された世界にはいるとトラブルを起こす人、破壊者となり、問題山積みの世界や、ゴタゴタした組織、建て直しを必要とする世界に入ると、建て直しにおいて、その役目を発揮します。

そして、建て直しの役目を発揮して完成された世界を築いたら、次の建て直しに向かって自分の意識を問題提起することが求められて来ます。

物事や組織等の異物、不純な要素に敏感であり、妥協することなく変革、建て直しを続けていくことを役目として与えられています。

再建格は自分が出会う運命の、綻（ほころ）びの建て直しと浄化を役目として与えられた星です。

【1】 曲直洩気年支再建格

世の中の、次の時代の社会や組織を作り出す為の立て直しを役目として与えられています。世の中の次の時代を背負う意識が必要です。

人生を馬車馬のように一直線に進み融通がききません。

性格のなかに猪突猛進の質があるために、最初に善の道に入るか悪の道に入るかによって運勢が決まる。

人生のなかで何度か運命が変わるため、人生をいくつも持った生き方となります。

【2】 月干洩気

目的を一つに定めて一業に生きるとすごい成功をします。手段はいくつあってもかまいません。

無意識に子供に期待しすぎるため、子供に負担、プレッシャーをかける傾向にあります。

社会、世の中に対する目的が、宿命稼働の有効な手段となります。

子供に過大な期待を持ちすぎるところがあります。

【3】 日支再建

配偶者、身内、補佐役の立場にある者への破壊者か立て直しの宿命

です。

独身の間、立て直しの自覚を感じられない。

家庭、配偶者に建て直しの問題が出ます。

【4】 官星再建

地位・名誉・プライドに対するこだわりを所有しています。

資格を手段として建て直しに向かうと、宿命の稼働が始まります。

古いしきたりや格式からの脱皮を目指して、建て直しをしようとして
ます。

すべてが整った世界へ入ると、流派や伝統ある組織を失墜させる運
勢となります。

運勢が極まって上昇した時、名誉が失墜する可能性があります。

資格を持って立て直しに対面しようとする、運勢が稼働します。

ただし、建て直しの意識が根底にあって、生涯建て直しを意識した
人生を選択する限り、世の中が必要とする存在となります。

宿命準納音

人生、生き方のなかに矛盾を内在しているが、自分も周りも気づきにくい。組織、友人、兄弟との関係において矛盾を抱えた人と縁があります。

相反する極端な二面性を所有する。二度の運勢、二度の人生運など。人生に天国と地獄、楽と苦の二面性を持って生きるを役目とする。

宿命準納音は、陰陽で矛盾が現れるため、現実が安泰であると、精神的に矛盾を感じる場合があります。

世の中の精神的矛盾を抱えた人の建て直しを意識すると現実が安定し、現実の矛盾に立ち向かうときは、精神が安定する動きとなります。

友人、兄弟が頼りにならない。精神的つながりだけの場合は、遠方の地であって、頼りになる存在となります。

人生に相反する二面性と縁があるため、見た目の幸運、内面の精神的不運、見た目の不運、内面の充実感の気が動きやすい。

過去の矛盾、現在の矛盾、未来の矛盾を正すことに役目のある星です。

矛盾を正す星が精神的世界に入ると、発明家、新規発見者、今までになかった新しいアイデア、技術を発案した人となります。

現実的世界に入ると、矛盾を正す革命家、宗教創始者、今まで成し得なかったことを成し遂げる人生、となります。

悪く出れば反社会的な人になり、良く出れば社会の間違いを正す人です。

納音を一言で説明すると、世の中の矛盾を正すことが役目です。

相反する2つの異なる世界を持つことで安定する宿命です。

【1】 年と日の宿命準納音

<<親と自分の生き方において価値観に大きな変化を生じやすい。>>

親の生き方に歩調をあわせながら、内面に、両親の矛盾を意識した育ち方をする。特に母親に対して矛盾を意識する。しかし、指摘する

ことはあまりない。

親、兄弟・姉妹の矛盾を正したい気持ちを持つ。特に、異性の兄弟姉妹か、年下の兄弟姉妹に対して矛盾を正そうとする意識が稼動します。

プライベートの人間関係においては、価値観、目的が違う人との縁が多いが、相手に自分の本音は打ち明けられない。打ち明けると否定されて傷つく。

天合地破（干支相破）

表面はまとまっているが、中身はガタガタである。現実が伴わない。先に相手の意向を気にするため、偽善的要素のように受け取られることが多い星です。

まとまりを壊して改革・波乱をよび、変化を引きおこしやすい。

表面は健康そうでも、内面が病んでいることがあります。

精神はしっかりしているが、現実が伴わない。

体裁や格好だけをつくろうとしがちです。

人の扱いはうまい。

精神的次元上昇に向かおうとする時、この星の人は、天が見方する星です（見えない世界の導きがあります）。

この星は、自分および自分が関わる人の精神的次元上昇、精神的啓発を受けたり、与えたりする生き方となるか、自分の次元、人格が下がる生き方となるかの、どちらかの生き方となります。

【1】 【年と日の干支相破】

目上に対して、表面上をつくろった対応をしてしまう星です。父、目上、上司の顔色をうかがう気が動きやすい。自分の本音、意志を表明できない。

父、目上、組織の統率者から強い指示が出ると反論できず、それに従ってしまう。しかし、統率者の矛盾が気になり、内面で反発の意識が動き出す。

結婚後、配偶者に気を使う星です。しかし、本音をパートナーに打ち明けられない。

宿命中殺はありません

【1】 【宿命中殺はありません】

身内、家系と、精神的な面で縁が深い星です。

社会に出る段階で、親の恩恵に預かったところで生活の土台、基盤を作り、社会生活を始めると精神が安定し、運勢の稼動が始まります。

家族、親族と関わる役目があります。

位相法・合法（融合・和合・強調・まとまりの気を見ます）

【1】 【宿命に合法の位相法は成立していません。】

家族を含む人間関係の情に振り回されない生き方をします。

職場においても、協調することに無頓着です。

人間関係において冷静な判断ができる人です。

位相法・散法（分離・分散・淘汰の気を見ます）

【1】 【宿命冲動はありません】

身内、家系と、現実的な面で、極端な価値観の違いはありません。

親元を遠く離れないことにおいて、現実が安定します。

生活の基盤、人生の晩年において、親元を離れた生活をしていた場合、子供以外の人に老後の世話を受けることとなります。

身内、故郷と関わる役目があります。

生年 と生月 の

二人分の人生、二度の人生、名字の変化（養子縁組）等、人生に二つのテーマを与えられた宿命です。

社会、世の中と関わる年代になって、人生観に大きな変化が訪れる星です。

親もとにいる間と、親もとを離れ、社会的に関わる生き方をしようになってからの人生、生き方が変化します。

守護神一点高透

文明社会で人の評価を得やすい星です。

組織や社会、人間関係において注目を得やすい星です。

平和な時代、物質運に恵まれやすく衣食に困らない星です。

動乱期や田舎の一人暮らし、泥臭い生き方はできません。

人間関係や社会的に評価を受けやすく、注目されやすい運勢です。そのため世の中が平和な時代に力を発揮します。生きていくための、物質的なものに恵まれやすい運勢です。

平和型の運勢です。世の中が平和な時代に力を発揮します。

精神的なものを求めることに適しています。品位や位を高める役目があります。

本人の努力に関係なく幸運にめぐり合う運勢を持ち合わせています。

傑出した才能、傑出した人物となりやすいです。

運勢における天才型の人物となりやすいです。よって、集団生活やサラリーマン生活は、その特異性を発揮しずらくなります。

生きるための美意識がハイセンスな気を所有しています。

目的が精神的なものや、次元、位、名誉を高める方へ向きやすいです。

日支調和の守護神

自分のバランスを取るために、配偶者の力を頼ろうとする意識が芽生えやすい運勢の持ち主です。

配偶者、家庭を意識するなかで、運勢が稼働を始める星であります。

目上に対する意識運

目上、組織に対する協調性の意識の持ち主です。

目上に対して平等意識が強いです。

世の中に対する意識運

社会や世の中で認められやすい星です。女性は夫の仕事運をのばす星です。

宿命（意識できる世界）

【調舒星主星の性格】

直感的構造、反発・孤独

孤独の星。偏りやすい。瞬間的早さ、決断が早い。感謝される反面恨まれる場合がある。若いとき誤解されやすい。

中庸を保っているとぬるま湯に浸っている気分になる。

あまのじゃく（へそ曲がり）なところがあり、それ故に六親（親族）に縁が薄い要素があります。感受性が豊かで味覚に鋭いが、食を楽しむことに主願はおけないです。

好きに始まり、嫌いに終わるとか、嫌いに始まり、好きに終わる等の極端な気の動きがなされる。

・【調舒星主星の運勢の特徴】

性格が非常にきつい。

自意識過剰な人である。

第三者の理解を越えるので、自分の心の中を理解してもらえない。そのために周りより誤解を受けやすい。

神経過敏になりやすい。本人は自己中心的になりやすい。

反発反抗、孤独、無からの発想、空想、哲学、音楽、短歌、和歌
心理面の観察

・【調舒星主星の吉凶】 自分の運気のバロメーターを知るために！

吉作用

現象 経済力、表現力、時代を見抜く目を持ち新しい時代を切り開く。

性格 内面は用心深く慎重である。社交性、明るい

凶作用

現象 感受性強く孤独である。多弁で口うるさくなる。

性格 自分だけの世界にはいる。反発、反抗、執念深い。

純・濁法

意識が平和型か動乱型かを判別します。この世の中は濁であり、平和な家庭は純であります。世の中に順応しやすいかどうか、家庭人向きかどうかを判別する技法です。

純の星は女性が持つと消化しやすく、濁の星は男性が持つと消化しやすい星です。

【濁】 本質的に性情としてじっとしてられない性格となります。

この星は、行動的、積極的であります。

濁っている星であり、清濁あわせのむ心の広さが持てる星です。

運の伸長に環境による問題はありませんが、環境に恵まれると飢えがなくなり、世の中に対する意識が後退していく可能性が生まれます。自分が動き出すことによって運がのびる星です。

世の中は濁である故に、動乱的星である濁の人は生きやすいということになります。

自分もっている質と環境が合うことが重要となります。

【職業】生産性の会社は濁です。鉱山・船舶・機械・営業

身強・身弱法

身強・身弱は本人の現実世界に対する気の強さを判別します。人生における道路を走る時の車の大きさにたとえられます。大きい荷物を運べる人か、少しずつ荷物を運べる人かを判断します。

身強は人の上に立とうと欲し、人と共に社会を生きようとします。そのため自我心が強く、頑固さを内面に所有するようになります。頑固さがあるため、人の意識を自分に向けてまとめることができます。

身弱は精神的世界で生きようとする本能があります。現実的世界に対してうとくなりがちです。現実的世界でいざというとき、追い込まれると、それに耐えることができない性分です。

世の中には、身強といわれる人間掌握に役目のある人と、身弱といわれる精神的次元の上昇を目指して、品位や魂の次元を上昇させることに役目のある人がいます。身弱は精神的人間性の上昇、あるいは品位、社会に出ると組織の格式の上昇に役目があります。

人に対して直接的に人心掌握して人を動かすタイプが身強の人、芸術や組織のルールなど、間接的手段によって人の心を動かすタイプが身弱の人です。間接的に人を動かすタイプは、人の次元を上げたり、下げたりすることがあります。

身弱は、自分にあったことは持続できますが、自分に合わないことを持続する根気がありません。

身強は自分に合わないことでも、我慢して持続させることができます。

ですから、身強は自分の適職になかなか気づきにくいし、身弱は自分の適職を早く発見しやすい。といえます。

【身強】

精神的部分を補えずに育つと（精神が鍛えられないと）情にもろく人の頼み事を断れない性格となる。すべてにつけて理性で対処できなくなる。

人の目に情にもろく暖かみがあるように見られるが、やがては自分のためにやっているように見られる。

精神的苦勞して育つと内面が鍛えられ、集を組んで引っ張っていくようになる。

様 【天の巻・羅針盤】

集を作っても目的が違くと仲間割れをして分裂します。目的の同じ
集団形成が大事です。

行動力が伴うようになると、物事の判断に直感が冴え、現実の判断
が冷静に対応できるようになります。

運氣強くして、頑固なところあり。

身分に上下の差がない平和期に力を発揮する。

根を生やしてじっくり生きる方が運勢が発福しやすい。

【身強・濁】

エネルギーつよくして、頑固さあり。世渡りに強し。

世俗、社会の濁につよい。

局法（性格による行動の大きな特徴）

長命にして、子孫繁栄の運勢あり。

長男が跡を取って家運栄えやすい星なり。

子孫繁栄の星です。

精神の内面にまとまりがなく、過敏であったり無感動であったりし
て、精神の動揺が激しく内向的となりやすい。（局部的ノイローゼ）

芸術的感性の鋭い素質があります。感性を生かす環境で才能を発揮
します。

動乱に強い星です。忙しい環境で才能を発揮します。

循環法（運勢が動くときの流れを観ます。）

親兄弟の助け、理解を得るところから運勢が活性化し始める星です。

自分の跡継ぎを得ることができる命式であります。

将来に対する可能性を抱く人であります。自分の将来にいつまでも
夢を追いかける人であります。

始めがなく終わりが無い。自分が物事に対しけじめ・区切りができ

ない。行動のきっかけにおいて、動機の結論付けができない。

とにかく行動することによって自分の中の気が動き出す。

目的を決めてから行動するタイプではなく、行動のなかに目的が見えてくる星である。

複雑思考、単純行動の人である。(周りから見ると簡単な行動をとるように見られるが、本人の中ではよくよく考えた末の行動である。)

他人との交流を嫌い、物事の考え方に独創性が生まれます。

人生の目標が、物事の本質、真理を求めようとします。

現実的行動を起こすときのきっかけの原因

心の葛藤が物事の原因を作る。怒り、反抗など不合理的を解消しようとする行為が、人生の現実的原因を作る。

想念・観念を起こすときのきっかけの原因

疑い不信感が発想の原因を作り出す。

ねたみ、自己を卑下する、最悪を考えるなどが出発の原因となる。

家系運

心、魂が癒されるための方法を知る技法です。

- 【 陰】 守護神（癒し）の力は現実的なことで力を発揮します。
家系とは現実的に関わりがあります。

- 【 破】 母親の体内に宿ったとき家系の気と自分の気が異質であったことをあらわす星です。家系の質を変化、あるいは進化させる気質があります。
先祖や家系の気質、伝統、慣習から離れることによって、運勢のバランスが保たれ、魂が落ち着きます。

- 【 破】 この世を生きていく上で、自分自身の意識によって心のバランスを保とうと欲する星です。
この世に生を受けて後、親の意向を離れて自立することで、運勢が上昇することをあらわす星です。
人生を歩む中で、自分の力で頑張ろうとする意識が芽生えることが、大切です。

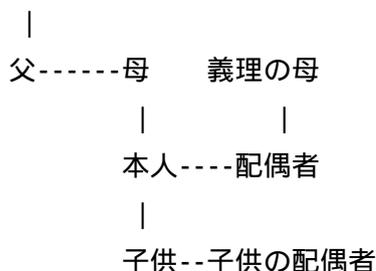
- 【秋運】 守護神（癒しの力）は、家系や先祖の伝統、風習にとらわれず、自分自身の生き方を自覚確立して、自分自身の意識によって心のバランスを保とうとします。

先祖から子孫へつながる家系の流れの中で、周りの家族をいかそうとする意識が、魂に安らぎを与えます。

自らの運勢を優先しようとするとき、先祖から子孫へつながる家系の流れの中で、家系の平均より上昇することを抑えられてしまいます。家族や身内をいかすことが役目の一つとして与えられた星です。

霊法 (縁の深い順) 兄弟・姉妹、子供、夫、母、父
父方との縁が深い星の元に生まれています。

祖父---祖母



結婚を決定するときの方法を知る

形のとらわれなくて前進力のある人を好きになる傾向にあります。
結婚に際し、独断による決定は好ましくない。年長者、先達など、
目上の人に相談した方がよろしい。ただし、大勢の人に相談しては
いけない。

先祖とのかかわりを知る

どのような先祖の気を受けているかを知る技法

二代ないし三代前において、その家系で最大に運が伸びていた時代
があって、その子孫として生まれてくる星。または、家運が代々全く
世の中で功をなすことなくして、その後に生まれてくる星である。

一家を持続させるために生まれるか、家系の期待を一身に込められ
て生まれてくるかのどちらかとなる。

家系の流れの中で、各代に渡って運気の上下が極端な差のある家系
の気を受けて生まれてくる。但し、財と名誉が交互に出る場合もあ
る。精神と物質で各代が極端に違う場合もある。

自分と配偶者の考え方が全く違う、世界が違う結婚になりやすい。

社会運

五常元法 組織における自分の役目を知る法

【とう蛇】

愛によるバランスを取った調和の意志力を自覚したとき、
運命における役目が動き出す。

器用で目的が定まりにくい。

環境が変化しても自分の本質は変化しない。

頼られると面倒見が良い。意志は強いが、孤立
無縁になりやすい。

政治家的質を所有する。

いじめられようと助けられようと動じない。助
けを求められても、助けたくなければ、助けない。
周りから助けられると逆効果となる。

すなわち、禍に強い星である。

非常なる冷静さと大いなる愛を持つとき運勢が躍動する。

【陽型】

組織の目立つところ、会社の第一線で売り上げを上げ
ている職場。会社で目立っている職場。

組織における生産的で、対外的にも注目されている職場。

生産的、結果の出る世界が向いている。

実業等の表の世界に適する。

一言で表すと【表方】

【順型】

理論的、知恵やアイデアを主とした仕事場。

行動派というより理論派である。

知性を発揮できる世界。

一言で表すと【知能労働】

【陽型・順型】:【表方】【知能労働】

会社の表側、知能労働ができる部所で能力を発揮する。

アドバイザー、建築士、設計士等にむく。

座望法

【中央律】

0～2000年の、先祖の、魂の気の集約を受け継いでいる星。

時に若く、時に古く、思考が働く。

特別の仕事がない。生き方で天下を取るか、貧乏か中間がない。人生は問えるが職業は問えない。大物か小物である。

宇宙盤法 社会における自分の役目を知る法

【陰陽 表・裏】

世の中表の世界・裏の世界関係なく、つきあえる人である。

人間関係や交際範囲は、世の中で認められていても、認められていなくても、本人にとってこだわりのない人である。

【主流・反主流】

どちらもあるため、社会への適応性はある。

社会に対する価値観が、偏りにくい。

しかし、どちらかといえば、組織の反主流的意識を持つ。

世間の本流より、反主流的傾向の人との縁を深めようとする傾向がある。

【広い】

人間関係や交際範囲は広く、いろんな世界の人々と交わる事が多い。

主流とは社会や組織の本流の世界：財界、政治、商業

反主流とは社会や組織の反主流の世界：日本においては軍部
芸能界、野党（政界）

表とは注目を受けている世界：芸能、マスコミ、政治、財界

裏とは注目を受けていない世界：やくざ、軍部、職人、農業

才能と長所・適職

自意識が強く、個人主義傾向があり、単独行動を得手とします。つまり、一匹狼的で、いろいろな面で集団にとけ込めないです。そのため、スタープレイ的な行動を起こし、集団の中では指導的立場に立つとか、個人で仕事をしたりします。

集団の中の指導者とは、ある意味はみ出し的要素があるといえます。

思考法は複雑で、芸術家や学者に多いです。

行動の途中に思考性が入り、行動に全神経を集中できない。

計画を立ててから動くのではなく、動きながらいろいろ対処していくので、仕事をしながら次の段取りを考える人である。経営者に多いです。

突発的の事故に対処できる人であります。悪くすると、行動が中途半端になる要素があります。

考えるときも行動するときも、常に頭が動いています。思考が先に動いて行動がともなわなくなります。理屈はよく言うが実行がともなわない人になりがちです。

世の中の講釈師となります。狂人が天才的です。

理性の天才か狂人。

生活から離れたところに才能を発揮します。

- ・ 理論性 評論家、学者
- ・ 創造性 芸術家
- ・ 思考性 宗教家

【精神的分野で才能を発揮します】

星の才能です

右か左か、白黒をつけて行動する人です。

財力を得るための適職です

自分個人の考えや主張を伝達する仕事が適職となります。才能で勝負する職業。

芸能など個性を伝える仕事。

芸術など作品を通しての自己主張の仕事。

自己の考え方を他人に伝達あるいは教授する仕事。

物事の流れに関与するコーディネーターの仕事。

（プロデュースや編集者等）

音楽に係わる仕事。

夢や理想を優先するときの適職

見たものを美化して伝えていく世界。

マスコミ、コマーシャル。

芸術性、華道、茶道、詩人、俳人

経済力が伴う夢や理想の仕事を行います。

経済力と自分の夢のバランスを求める気持ちが大きいです。

世の中に受け入れられ、自分の夢もかなう仕事をしようとしています。

総合鑑定

【無意識世界】

安定した平和な環境を無意識に求める傾向にあります。
社交や人付き合いを大切にしたい願望を持っています。
植物、動物、生命と関わる世界と縁が深い星です。

火、光、太陽、星、光るもの、目立つ環境、目立っている環境と縁が深い星です。

【意識できる世界】

調舒星主星。(伝達本能の陰)

感受性が強く空想力があるために、あれこれと一人で考えたりすることが好きで得意です。感性の鋭さは、神経質な性質にもなり、そのため心理的葛藤が大きくなります。その性質は周りからは何を考えているのかわからない人に見られます。一度味わった恨みは忘れられない反面、心を許した人へは大変細やかなやさしさを見せます。

自我の意識が強い性格です。自分自身と自分の周りの人を守ろうとする本能が強く、自分の意志や周りの人達も含め、守ろうとします。

組織や集団の中の要であろうとする意志が強く、思想や信念によって守ろうとします。年齢とともに情の深さを備えるようになります。

濁の宿命です。

社会や世の中にもまれることに強く、刺激を求める性格です。刺激のある生活を無意識に求め、刺激的環境において意識が活性化します。他人の言う事も鵜呑みにすることなく、現実的思考、判断で対応しようとする傾向にあります。

両親が苦勞した時代に育つと、世の中に対して現実的に対処する意識が芽ばえ、社会に出てから世の中と協調できる性格となる傾向にあります。

両親が、幼少期離婚したりすると、成人後、世の中に対して孤立した人間性を形成しやすいが、その中で自己実現をしようとしています。

幼少期、経済的に安定した環境で甘やかされて育つか、極端に苦勞や虐待を受けて育つと、成人後、仕事以外での刺激を求め、ギャンブルや異性に刺激を求める人間性となりやすい。

最身強です。

エネルギーが非常に強く、性格的には自己中心の意識が非常に強いです。普通の生き方では満足できないと思考します。女性は普通の結婚では満足できないため、なかなか結婚の決断をしづらくなります。

最身強は宿命の器が大きく、大きな事・沢山の事がしたいと望みます。車にたとえると大型自動車、ダンプカー、一度に多くのことをなそうとする性格です。

大きな組織に入って力を発揮するか、大きな組織を形成するか、大きく世の中を見て、客

観的に人を把握しようとし、組織形成に最大の役目があります。

平和な環境、安定した仕事においては、強いエネルギーは内面の思考となって動き、仕事をしながらアレコレいろんな想念がめぐるようになります。そのため、単純な仕事をしているときほどミスをしやすいです。

人間関係、人間掌握に役目があるため、若い時代、人間関係で苦労させられた環境で育つほど、人へのいたわり、人を包み込む人間性を形成する傾向にあります。

若い時代、甘やかされた環境で育つと、有り余るエネルギーは本人の内面にくすぶり、非常に悩み多い人生となる。それが、中年後、病気となって発散される場合や、うつ病となって発散される場合があります。女性は結婚後、夫に過大の要求、期待を求め、夫を精神的負担に追い込んでしまう。そのため、夫婦間のトラブルから夫の挫折を招きやすい。

(女性の場合、夫としてふさわしいパートナーは、10歳以上年齢差のある相手か、異国の人と結婚するとよい。それは、パートナーに過大なエネルギーを向かうが空回りするからであります。

また、女性は結婚しても、そのエネルギーを家庭で消化しきれないため、仕事を持ったほうがよい。これも、夫に対して過大なエネルギーを向けないためであります。)

エネルギーが強いため、若い時代、人の何倍も苦労をさせられる生き方をした人ほど自立心がめばえ、やがて、多くの人間関係を掌握しようとする。そして、組織形成で才能を発揮するようになります。

さまざまな事に挑戦し、自分だけの生き方を確立し、最終的に精神的価値観、自分なりの思想、イデオロギーを形成しようとするのが最大の特徴です。

【運勢】

【初年期】

- ・身心を育てる時期。
- ・生来の素質と能力を育てる時期。環境から受け取るべき要素を星が表す。

石門星 + 天将星の組み合わせ

肉親に縁が薄い。

親と意見が合わないか、父親を無力に感じて縁遠くなる。

調舒星 + 天将星の組み合わせ

目的が定まるとすばらしい前進をするが、目的がないと何もやらない。

男性は特に、生きることに目的がないと妻に食べさせてもらい、本人は何もしない。そのとき、本人は悪いという感覚がない。そのくせ、他人の面倒見良く、人助けをする。

【中年期】

- ・自信の身心の能力を外界に働きかけ、内と外との相互作用を通して、自分の能力のすべてを発達させ、発揮させる時期。
- ・自分が所属する社会と自分自信の顕現させる本質を星が表す。
- ・社会から精神的影響を受け、身心の勢いが淘汰される時期が来る。

調舒星 + 天将星の組み合わせ

調舒星 + 天将星の組み合わせ

目的が定まるとすばらしい前進をするが、目的がないと何もやらない。

男性は特に、生きることに目的がないと妻に食べさせてもらい、本人は何もしない。そのとき、本人は悪いという感覚がない。そのくせ、他人の面倒見良く、人助けをする。

【晩年期】

- ・若いときに形成したものを内面化する時期。
- ・身体を消耗させる時期。

車騎星 + 天馳星の組み合わせ

争い事のなかで才能が発揮され、非常に喧嘩っ早い。しかし性格は明るい。調舒星が宿命にあるとしつこさが加わる。

春、夏生まれは特に喧嘩っ早い、人間的には無礼のなかに親しみがある。

女性は非常に邑楽かな性格となる。

【再建格】

再建格とは、宿命に、自分と異質なエネルギー、環境と矛盾する気を所有するため、自分が世の中に対して異質、と感じる気と同調し、異質な気を補正しようとするエネルギーが稼働する宿命を再建格といいます。

縁ある人間関係や職場において、矛盾した気を持つ人、何らかの矛盾を抱えた人が気になり、補おうとする気持ちや意識が稼働します。

会社にはいると、組織の問題ある部分が気になり、その部分をつっついてしまいます。人間関係では、問題を抱えた人と縁があり、相談を受ける縁が生ずるようになります。

このことが、自分の運命において、【立て直し】という役目で消化するとき、自分の異質に対する気が、じょうずな形で消化することとなります。

常に、何らかの矛盾と縁があるため、平和で安定した状況におかれると、少しの矛盾を刺激して、大きな問題にしてしまう要素があります。この場合、トラブルメーカーと言われるようになります。

このような星の動きより、再建格を、矛盾、異質を補正・修正する【建て直し】を役目として生まれた人、といいます。

人生において【建て直し】を意識している限り、世の中が必要な存在となり、現状に安住して安定を求めると、異質、矛盾を刺激して、問題部分を作り出すようになります。

再建格の大きな特徴は、自分が係わる人生において、破壊者か、建直しが役目でありま
す。一般的には、創業者、初代運として家系を建直して財等を形成した後、その財を破産
するように動く人が多いようです。有名なところでは、グループの兄弟。元
デパートの会長と、北国の前国家は同じ生年月日で再建格です。これらの人達
に共通していることは、財や名誉を形成してある一派を成した後、その財などに執着して
安住を求めたため、運命が敗れる現象が現れました。

再建格は、建直しが役目であるため、現状の安定や、自己保身、自分本意の動きをな
そうとすると、建直しという役目を放棄したため、建直しの環境を自ら作るような運勢が動
き出します。それが破壊現象として生まれるのです。

人生の運命の岐路において、建て直しか、トラブルか、の選択を迫られることがありま

す。常に、運命の岐路において、『建て直し』という視点で物事を選択し、判断すると、世の中の必要な存在となります。家庭の建て直し、夫の建て直し、という視点で捉えることで、問題の局面に出会ったとき、解決の糸口が見えてきます。

注意しなければならないことは、現状に安住しようとしたときです。もうこれで大丈夫。と、思い始めると、不安定要素、欠落の気が動き出します。そのため、トラブルが生じるようになります。そして、建て直し、という問題と対面させられることとなります。

ですから、人生に対する意識が、常に、建て直し、という視点であらゆる物事を思考する視点、価値観が求められるようになります。

そのためには、世の中、社会に役立つ生き方をしたい。と、心底思えるようになれば、『建て直し』の役目がじょうずに消化できるようになると思います。

【宿命準納音】

宿命準納音は、世の中の、陰陽で現される世界の、相反する二面性と対面する星です。生まれた家系においては、家系、一族のなかでは表と裏、外見と内側の、相反する二面性が気になるようになり、矛盾というものを直視するようになります。

外見と内面、表と裏の、静と動、善と悪、正と負のように、陰陽に表れる相反する、矛盾する事象に意識が向きやすい。

自分が関わる社会の中で、矛盾を正すのか、矛盾から逃避するのか。ということが、自分の意識の中で動き出します。

世の中のしきたり、習慣、常識として正しいと信じられていることに誤りがあれば、それを正そうとする意識に目覚めるとき、世の中の必要な存在となります。

宿命準納音は、発明家、新しい発見をする人、世の中の矛盾を同時に表現する作家、音楽家、芸術家に多い星です。

宿命準納音は、ある事象に対して、全く異なる視点で見ようとします。180度対極の視点から物事を見ようとする意識が働く人です。ですから、それまでの矛盾に気が付きやすいので、発明家、発見者となります。

(アインシュタイン、ニュートン、ガリレオ・ガリレイ、ケプラー)

(スタンダール；赤と黒、ヘルマン・ヘッセ；ヘルマン・ヘッセ { 常識と非常識 })

(川嶋あい { 歌手 }; 「絶望と希望」)

【同じ が2つの宿命】

人生に大きな変化とを感じる現象が生ずる。現実的变化、価値観の変化、運命の変化が訪れる。

幼い頃養子に出されることがある。両親が離婚して母方の実家で育ち、2家の先祖の気を強く受けて育つことで消化することもある。

結婚を2回繰り返して消化する場合、不倫して、相手に2人分の人生を背負わせ、自分は2分の1の人生となる。あるいは夫が浮気をして、夫が2人分の人生を背負って消化することもある。

男性および独身の女性は2つの仕事で消化となる。家庭を持った女性は、家庭と仕事で消化し得る星である。

2度の人生、2人分の人生、2倍の人生、2分の1の人生等、人生に2つのテーマを与えられた宿命である。

結婚のパートナーが2度の人生運を持っている場合、1一人の人との結婚でおさまる運命となります。

【人間関係】

【年と日の準納音】

年と日の準納音は、親と自分が対極にあるような状況において、その役目を消化できません。よって、親の生活拠点から離れた所で家をかまえることで、宿命の星を稼働できます。一般に核家族の状況に相当します。

親、先祖、目上に対して矛盾を感じる星です。

【年と日の干支相破】

年と日の干支相破は、親、目上、上司、友人、同僚と、価値観が違って、表面上、相手に合わせようとします。そのため、内面に矛盾を抱えることとなります。価値観の違い、生き方の違いを認める心の広さを求められている星です。人の生き方を認める心の広さができると、自分より次元の高い人との出会い、精神的啓発を与えてくれる人との出会いを与えてくれる星です。

【宿命の縮図】

あなたの宿命を自然界に置き換えると、春の陽気盛んで、太陽が照り続ける森の中で、鉢のような岩のくぼみに咲いた一輪の綺麗な花が、あなたの魂の象徴です。

森の中の、岩のくぼみは、他の樹木、草木から孤立しています。岩のくぼみ、岩を排除することで森林と同化しようとする質があります。この岩を排除しようとする質が建て直しの意識として稼動する場合と、岩の象徴が夫の魂であるため、夫の建て直しか、夫の排除として意識が動きます。

親もとにいる間は、問題を抱えた異性に関心が向かう。親もとを離れて世の中と対面する生き方をすると、世の中の建て直しをしている異性に関心が向かうようになります。

世の中の一般的な社会人と異なる世界で、世の中の命ある存在、動物、植物、人間の生命、健康の矛盾と対面し、矛盾を正し、建て直しの意識を持った人生を歩もうと意志するとき、世の中の必要な存在となります。

では、幸運をお祈りいたします。

。.:*:.'° °'.*:.. .*:.'° °'.*:.. .*:.'° °'.*:..

易経より

「周易繫辭伝」より

易は窮まれば変じ、変ずれば通じ、通じれば久し

「周易文言伝」

積善の家には必ず余慶あり

積不善の家には必ず余殃あり

自然法算命学 観山素至命

URL <http://3meigaku.com/>

。.:*:.'° °'.*:.. .*:.'° °'.*:.. .*:.'° °'.*:..